

## 海外からの旅行客が選んだ、東京で最もおいしい料理は？

森記念財団研究員  
脇本敬治

昨年末に和食が世界無形遺産に登録され、和食は世界のみならず、日本国内でも改めて注目されている。東京は、世界の美食家が注目するミシュランガイドで星を取るレストランの数が最も多い都市と評価されており、2020年にオリンピック開催が決定したことから、これからは多くの人達が、おいしい料理を目当てにやって来ることは間違いないだろう。

それでは実際に海外からの旅行客が、最もおいしいと答えた料理は何だろうか。森記念財団は東北大震災の前年2010年に東京を訪れた旅行客にアンケート調査を行ったところ、一位にランクされたのは、寿司でも、天ぷらでもなくトンカツだった。

有効回答数1761の調査で、東京滞在中に印象に残った料理のうち「美味しい」と「安くて良い」と答えた数から「不味い」と「期待外れ」を差し引き、評価人数で割って美味しい評価度を算出した。その結果、一位は美味しい評価度100%となった「トンカツ」、二位は同92.1%の「しゃぶしゃぶ」、三位は同90.2%の「お好み焼き」だった。以下四位は88.5%の「焼き鳥」、五位は87.9%の「寿司」。以上がベスト・ファイブである。

寿司は東京で最も印象に残った料理として、訪問者数の約半数が答えており、知名度は非常に高い。しかしながら、「不味い」「期待外れ」と答える人が759人中46人おり、おいしい評価度がやや低かった。

印象に残った料理の二位、ラーメンは美味しい評価度が69.9%。三位の刺身は同85.8%と上位に比べ数値が多少低く、印象の高さと美味しさの評価とは必ずしも一致しなかった。寿司、刺身は、魚を生で食べる習慣のない国の人々にとり抵抗があるものと思われる。

トンカツは明治時代に西洋から伝わったカツレツをもとに、東京で生み出された料理である。まだ知名度が低いためか、印象に残った料理には入らないが、実際に食べてみると、とても美味しかったとの評価である。もし海外からの旅行客に、東京でおすすめの料理を聞かれたら、トンカツを推薦してみたらどうだろうか。

詳細は『[東京のブランドカ ～世界が憧れる5つの魅力～](#)』参照のこと（好評発売中！）

